

Kawai

河合地区

平林寺跡・武州鉄道跡を歩く

河合地区は、綾瀬川に面した台地の縁辺部が木々に覆われ、台地中央部には緑のトラスト、元荒川沿いには沼沢地が開けている自然の宝庫です。また、併せて武州鉄道の路線跡も歩いてみませんか



バス時刻のお問合せ

国際興業バス
さいたま東営業所
TEL 048-812-1577

朝日バス
菖蒲営業所
TEL 0480-87-2161

..... コース トイレ コンビニ



河合地区

見どころガイド

① 武州鉄道跡

武州鉄道は明治43年(1910)11月、中央軽便電気鉄道として創立し、後に社名を武州鉄道と改めました。



大正13年(1924)に蓮田・岩槻間が開通し、昭和3年(1928)浦和大門、昭和11年(1936)には川口市神根まで延長しましたが、昭和13年(1938)9月に廃線になりました。

武州鉄道馬込駅の建設を記念した昭和6年(1931)2月1日銘の「馬込車站建設碑」が、民家の裏に残っています。

② 緑のトラスト保全7号地

岩槻区の北西部、綾瀬川と元荒川に挟まれた台地上に位置し、段丘斜面林や屋敷林が残存する緑豊かな景観を呈しています。屋敷林にはシラカシ、ケヤキ、コナラ、クヌギや、四季折々の里山の野草も見られます。また、猛禽類から哺乳類、小昆虫まで、さまざまな生き物も姿を現します。



③ 満蔵寺

天台宗のお寺で、瑠璃光山東光院満蔵寺といい、阿弥陀如来を本尊としています。嘉祥3年(850)に慈覚大師が開いたと伝えられ、天文16年(1547)銘の地蔵凶像板碑は、天蓋・地蔵菩薩・蓮台・三具足・前机が線刻で描かれ市指定文化財となっています。



境内の薬師堂には寛文9年(1669)銘の薬師如来と不動明王の浮彫立像の庚申塔があります。

④ 馬込の第六天神社

祭神には面足命と榎根命です。創建年代は不詳ですが、馬込地内には遺跡や古墳、長者屋敷伝説が残されており、早い時期から集落が形成されていたと推察できます。



江戸時代には村の鎮守として人々の信仰を集め、明治・大正時代には村内の多くの神社が境内に合祀されました。境内には富士塚もあります。

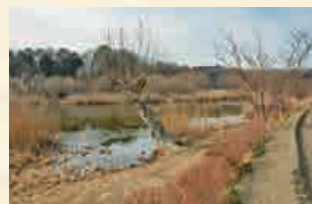
⑤ 平林寺境界の土塁

西の綾瀬川と東の元荒川を結ぶ馬込地区と平林寺地区の境で、岩槻台地を切るように伸びた土塁と空堀を土地の人々は「シンボリ」と呼んでいます。シンボリには、旧平林寺の土塁説や、岩槻城の外構え説など、諸説あります。



⑥ 赤坂沼

日露戦争後に鯉の養殖を行うようになってから、近くの坂道の名をとって「赤坂沼」と呼ばれるようになったといえます。この沼は三方を台地に囲まれて湧水に恵まれ、多様な植物が自生しています。特にスゲ類には珍しいものが多く、ジョウロウスゲは関東地方では数少ない生育地です。ハスも古くから自生していましたが、近年は夏に咲き誇るスイレンが楽しめます。



⑦ 平林寺跡

平林寺は石室善玖上人により永和元年(1375)に創建されました。戦国時代は岩槻太田氏や後北条氏の保護を受けていましたが、天正18年(1590)の豊臣秀吉の小田原攻めの折、兵火によって焼失しました。徳川家康はこれを惜しみ、50石の朱印地を与えて鉄山宗鈍上人に再興を託しました。その後、寛文3年(1663)川越城主松平輝綱により、菩提寺として現在の新座市野火止に移されました。寺跡といわれる大字平林寺地内に記念碑と枯れた銀杏の大木があります。



⑧ 関白神社

祭神は大鷦鷯命ほか2柱で、江戸時代には船越神社といわれていました。言い伝えによると、戦に敗れ、元荒川沿いに落ち延びて来た武将が、渡守に頼み対岸に渡り、平林寺の僧になりすまし難を逃れました。しかし渡守は追っ手により殺されてしまいます。それを知った武将は自分の代わりに殺された船頭のために碑を建て、後にこの神社になったともいわれています。



⑨ 水神宮

元荒川の自然堤防の上に水神宮の石碑があります。水神は水を司る神で、石碑は水の確保、水路の守護、洪水防護、水難者の供養などを祈り造立されたものです。石碑の右側面には「武州埼玉郡平林寺村中」、左側面には「文政八酉(1825)二月吉日」と刻まれています。



元荒川遊歩道

水神宮石碑から城北大橋までの約2kmにわたり、元荒川の川面に遊ぶ水鳥や季節の花が楽しめます。特に春にはソメイヨシノや早咲きの桜、野草の花などが咲き、気持ちよく歩くことができます。

お問い合わせ

岩槻区役所観光経済室 〒339-8585 さいたま市岩槻区本町3-2-5 TEL 048-790-0118 FAX 048-790-0260

編集

城下町岩槻歴史散策実行委員会語り部会

このマップは、1,000枚作成し、1枚当たりの印刷費は17円です。